久喜市議会だより

No.4

平成23年2月1日

発行 / 久喜市議会　編集 / 久喜市議会広報委員会
〒346-8501 久喜市下早見85の3　☎0480(22)1111(代)　FAX 0480(21)6061　HP http://www.city.kuki.lg.jp/section/gikai/gikai.html

▲空から見た久喜市役所　　撮影者：伊藤　清 様（久喜市菖蒲町新堀）

日曜議会を開催します！

2月20日に日曜議会を開催いたします。議事の内容は、市長の施政方針演説に対する「代表質問」です（市長の施政方針演説は、2月7日(月)に行う予定です）。

平日は傍聴に来られない方など、この機会に市議会を傍聴してみませんか。なお、受付は当日の先着順となりますので、予めご了承ください。

主な内容

11月定例会の概要 …… (2)
提出議案とその結果 …… (2) ～ (3)
決算常任委員会 …… (4)
市政に対する一般質問 …… (4) ～ (14)
委員会 …… (15)
陳情 …… (16)

2月定例会のお知らせ

平成23年2月定例会は、次の日程で午前9時から開催される予定です。

月　日	内容	概　　要
1月31日(月)	委員会	議会運営委員会
2月　7日(月)	本会議	開会、議案上程
2月20日(日)		代表質問
2月22日(火)		市政に対する一般質問
2月23日(水)		市政に対する一般質問
2月24日(木)		市政に対する一般質問
2月28日(月)		市政に対する一般質問
3月　2日(水)		議案質疑
3月　4日(金)	委員会	予算常任委員会
3月　7日(月)		予算常任委員会
3月　8日(火)		予算常任委員会
3月　9日(水)		総務財政市民常任委員会
3月10日(木)		環境建設水道常任委員会
3月11日(金)		福祉健康常任委員会
3月14日(月)		文教常任委員会
3月18日(金)	本会議	討論・採決、閉会

◆「久喜市議会だより」は、森林資源保護のため再生紙を使用しています。◆

11月定例会　会期11/24（水）～12/21（火）

概要

平成22年11月定例会は、11月24日から12月21日までの28日間の会期で開催されました。市長提出議案16件が全て原案通り可決され、9月定例会で継続審査となっていた平成21年度決算についても、46件全てが認定されました。また議員提出議案については、11件が提出され、9件が可決、1件が否決、1件が継続審査となりました。

○ 一般会計補正予算（第2、3号）2億9330万円を増額

11月定例会において、一般会計補正予算（第2、3号）として、2億9330万円が増額されました。

この結果、予算総額は447億530万円になります。

歳出で増額した事業の主なもの

総務費≫・本庁舎管理事業
　　・ボートピア栗橋環境整備協力費活用事業
民生費≫・訓練等給付費事業
　　・重度心身障害者医療給付事業
　　・子ども医療費支給事業
衛生費≫・予防接種事業
農林水産業費≫・農業経営安定推進事業
教育費≫・小学校扇風機設置事業
　　・小学校耐震化整備事業
　　・中学校扇風機設置事業

○「指定管理者の指定について」4議案を可決

下記施設の運営管理に関し、指定管理者を指定しました。

期間はいずれも平成23年4月1日から平成28年3月31日までです。

	公の施設の名称	指定管理者として指定するもの
1	久喜市立菖蒲東学童クラブ	たんぽぽ学童クラブ父母会
2	久喜市営釣場	社団法人久喜市シルバー人材センター
3	久喜総合文化会館	株式会社ケイミックス
4	久喜市総合体育館及び久喜市都市公園の有料施設等	毎日・シミズ・首都圏共同事業体

提出議案とその結果

※付託委員会
（予）予算常任委員会　（決）決算常任委員会
（総）総務財政市民常任委員会　（環）環境建設水道常任委員会
（福）福祉健康常任委員会　（文）文教常任委員会

○…賛成　×…反対　▲…退席

飛翔……飛翔　政策……政策会議　公明……公明党　共産……日本共産党　無派……無会派

●11月定例会（市長提出議案）

議案番号	件　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議案第68号	平成21年度久喜市一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第69号	平成21年度久喜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第70号	平成21年度久喜市下水道特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第71号	平成21年度久喜市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第72号	平成21年度久喜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第73号	平成21年度久喜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第74号	平成21年度久喜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第75号	平成21年度久喜市水道事業会計決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第76号	平成21年度菖蒲町一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第77号	平成21年度菖蒲町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第78号	平成21年度菖蒲町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第79号	平成21年度菖蒲町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第80号	平成21年度菖蒲町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第81号	平成21年度菖蒲町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第82号	平成21年度菖蒲町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第83号	平成21年度菖蒲町水道事業会計決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第84号	平成21年度栗橋町一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第85号	平成21年度栗橋町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第86号	平成21年度栗橋町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第87号	平成21年度栗橋町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定

議案第88号	平成21年度栗橋町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第89号	平成21年度栗橋町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第90号	平成21年度幸手都市計画事業栗橋駅西（栗橋地区）土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第91号	平成21年度栗橋町水道事業会計決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第92号	平成21年度鷲宮町一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第93号	平成21年度鷲宮町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第94号	平成21年度鷲宮町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第95号	平成21年度鷲宮町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第96号	平成21年度鷲宮町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第97号	平成21年度鷲宮町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第98号	平成21年度鷲宮町鷲宮南部施設整備事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第99号	平成21年度鷲宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第100号	平成21年度鷲宮町定額給付金特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第101号	平成21年度鷲宮町水道事業会計決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第102号	平成21年度栗橋・大利根土地区画整理一部事務組合（第１工区）一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第103号	平成21年度栗橋・鷲宮衛生組合一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第104号	平成21年度(新)久喜市一般会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第105号	平成21年度(新)久喜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第106号	平成21年度(新)久喜市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第107号	平成21年度(新)久喜市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第108号	平成21年度(新)久喜市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第109号	平成21年度(新)久喜市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第110号	平成21年度(新)久喜市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第111号	平成21年度(新)久喜市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第112号	平成21年度(新)久喜市土地取得特別会計歳入歳出決算認定について（決）	○	○	○	○	○	認定
議案第113号	平成21年度(新)久喜市水道事業会計決算認定について（決）	○	○	○	×	○	認定
議案第132号	平成22年度久喜市一般会計補正予算（第２号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第133号	平成22年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第134号	平成22年度久喜市介護保険特別会計補正予算（第２号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第135号	平成22年度久喜市下水道事業特別会計補正予算（第２号）について（予）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第136号	久喜市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第137号	久喜市立幼稚園保育料等検討委員会条例（文）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第138号	久喜市企業誘致条例（環）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第139号	指定管理者の指定について【久喜市立菖蒲東学童クラブ】（福）	○	○	○	×	○	原案可決
議案第140号	指定管理者の指定について【久喜市営釣場】（環）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第141号	指定管理者の指定について【久喜総合文化会館】（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第142号	指定管理者の指定について【久喜市総合体育館（第１体育館・第２体育館）及び久喜市都市公園の有料公園施設等（青葉公園・清久公園・久喜市総合運動公園）】（環）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第143号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について（総）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第144号	路線の廃止について（環）	○	○	○	○	○	原案可決
議案第145号	久喜市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	原案可決
議案第146号	久喜市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	原案可決
議案第147号	平成22年度久喜市一般会計補正予算（第３号）について	○	○	○	○	○	原案可決

●11月定例会（議員提出議案）

議案番号	件　　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
議員提出第5号	市長の専決事項の指定について	○	○	○	○	○	原案可決
意見第9号	尖閣諸島の帰属の明確化と、国家国民の主権と安全を守る法整備を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第10号	久喜市の警察行政管轄の一元化を求める意見書	○	×	○	○	×	原案可決
意見第11号	地方議会の権能強化のための法改正を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第12号	ＪＲ宇都宮線の始発電車の繰り上げ・最終電車の繰り下げを求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第13号	地方整備局の事務所・出張所の存続を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第14号	「彩のかがやき等」品質不良に対する農家支援を求める意見書	○	○5×2	○	○	×	原案可決
意見第15号	ＴＰＰ交渉への参加方針撤回を求める意見書	－	－	－	－	－	継続審査
意見第16号	「国保の広域化」に反対する意見書	×	×	×	○	×	否決
意見第17号	圏央道（首都圏中央連絡自動車道）の早期開通を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
意見第18号	久喜市栗橋地区の利根川堤防整備事業の継続を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決

●11月定例会（請願）

請願番号	件　　名	会派名					議決結果
		飛翔	政策	公明	共産	無派	
請願第1号	久喜市栗橋地区の利根川堤防整備事業の継続について国への意見書提出を求める請願（環）	○	○	○	○	○	採択

決算常任委員会

9月定例会で付託された平成21年度決算は、6日間にわたり決算常任委員会で審査されました。紙面の都合上、一般会計の主な質疑のみ掲載しております。

●平成21年度久喜市一般会計歳入歳出決算認定について　認定

問　破産申立費用分担金20万1258円の内容は。

答　自立支援給付費等の不正請求を行った2法人と、その法人代表者を対象とした債権回収のための破産開始手続の申立に係る弁護士委任費用等である。

問　自主防災組織で新たに設置された団体数と全体の組織率は。

答　平成21年度は1団体。組織率は、平成22年3月31日現在34.1%である。

●平成21年度菖蒲町一般会計歳入歳出決算認定について　認定

問　物品売払収入（町有バスの売却）311万円の金額はどう決めたのか。

答　3者で見積り合わせを行い、1番高かった業者に売却したものである。

問　老人クラブ活動費補助金134万4000円の積算根拠は。

答　1クラブ当たり4万3000円×24クラブ＝103万2000円に老人クラブ連合会の補助金31万2000円を加えたものである。

●平成21年度栗橋町一般会計歳入歳出決算認定について　認定

問　児童福祉費負担金の中の収入未済額194万9900円の内容は。

答　保育料の未納18件分である。

問　緊急時通報システムの設置台数及び利用件数は。

答　設置台数は74台。通報等の件数は、緊急時の通報が11件、相談が20件、誤報が62件である。

●平成21年度鷲宮町一般会計歳入歳出決算認定について　認定

問　一般寄付金3件1億1043万4652円の内訳は。

答　鷲宮南部開発から1000万円、個人から2000円、残りの1億43万2652円分は、鷲宮町開発公社が解散し、清算して出た分が寄付として入ったものである。

問　東コミュニティセンターの建築設備定期報告業務委託料が前回に比べ大幅増だがその理由は。

答　前年度に報告できなかった建築物・建設設備と平成21年度報告すべき建築設備の定期報告が含まれているためである。

●平成21年度（新）久喜市
一般会計歳入歳出決算認定について　認定

問　自立支援給付費等過納金返還金（久喜分）44万7599円の内容は。

答　国保連合会等に概算払いで支払っている自立支援給付費の過誤納金の返還である。

問　久喜市での図書館活動が、県内他市町に比してきわめて低い位置にあることについてどう考えるか。

答　資料購入等の予算の確保、司書の配置、司書でない職員の研修等の充実に努め、利用しやすい図書館作りを行っていきたい。

決算常任委員会委員は、次のとおりです。

◎岡崎克巳	○青木信男	石田利春	木村奉憲
井上忠昭	大谷和子	上條哲弘	春山千明
齋藤広子	並木隆一	柿沼繁男	猪股和雄
石川忠義	新井勝行	足立　清	松村茂夫

◎委員長　○副委員長

市政に対する　一般質問

※質問順に掲載しています。

齋藤広子 議員（公明党）

子宮頸がんワクチンについて・他

問　子宮頸がんワクチンについて、久喜市の取り組みは。

答　今後も国、県の動向を見据えながら実施できる状況が整い次第対応していきたい。

問　鷲宮中央保育所跡地に建てかえ予定の子育て支援センターに発達障害児の発達支援も行う多機能な施設にできないか。

答　発達支援機能を有した多機能施設とすることまでは考えていない。

問　ファミリーサポート施設横の空き地を利用し駐車場にできないか。

▲ファミサポ横の空き地

答　駐車場として数台分確保できる余地があるので今後整備して有効に活用する。

問　学生ボランティアによる学習支援について教育委員会から主体的に進める考えについて。

答　学生ボランティアの依頼や受け入れがより一層円滑に進められるよう、今後も連携を密に行いながら支援していきたい。

問　安心・安全メールの久喜市での活用について。

答　防災無線情報メール発信サービスの事業を平成２３年１月中旬から発信を行う予定をしている。

岸　輝美 議員（飛翔）

吉羽公園東交差点手押し信号機の定周期式への格上げを求める

問　図書館通りと太田小通りの交差点、吉羽公園東にはすでに手押し信号機が設置されているが、交通事故が多発しており、通常信号機（定周期式）への格上げを求めるものである。

答　以前地元からの要望があり、久喜警察署への要望を書面にて行った。今年に入り２件事故が発生したのを受け、改めて要望している。結果、市と久喜警察が現地調査を行い、「道路河川課」により防護鉄柱の設置、危険を知らせる道路標示、植栽の除去等事故防止対策を実施している。久喜警察署では信号機の改良に向け検討を進めている。

問　前から地元要望もあり、それなりの安全対策を講じられたことを評価する。現場だが道路の幅、車と人の交通量共に多く、また太田小への通学路、人波が絶えない吉羽公園脇、そして他の信号機との間隔等全て通常信号機（定周期式）への格上げを必要不可欠としている。久喜警察署では検討を進めている、との事だが具体的時期の見通しを伺いたい。

答　久喜警察署においても公安委員会の決定を見なければハッキリとは言えない、とのことだが、年内、あるいは年度内ということで準備している、という回答を頂いている。

要望　了解した。早期設置に向け引き続き努力されたい。

富澤孝至 議員（政策会議）

新聞記事になった、市長の合併構想

問　新市が誕生して７カ月余りの、１０月１３日に県内の大学での講演中に、将来の合併構想として固有名詞で「幸手市や宮代町、杉戸町などとの合併を視野に入れる」との市長の発言が新聞の記事として記載された。

新久喜市が誕生したばかりで次の合併構想を発言、しかも具体的な市、町の名前まで発信した。この発言に対する真意を伺う。

答　将来的には中核市の規模である３０万人都市の実現に向けて取り組んでいくべきという私の持論を申し上げた。

周辺の自治体の首長と具体的な話があったわけでも、現在進んでいるわけでも決してない。

今後誤解を生まないように発言には気をつけるが、３０万人都市実現を夢という中で具体的な実現に向けて動き出すことも場合によっては出てくる可能性もあるが、現在は新市がスタートしたばかりであるため、新市基本計画にのっとった市政運営に取り組んでいく。

その他の質問　◇新都市交通伊奈線ニューシャトルの延伸についての考え方。◇地下鉄７号線建設誘致期成同盟の現状と地下鉄７号線の延伸計画について。◇鉄道駅のない地区への鉄道等の誘致構想について。

石川忠義 議員（政策会議）

福祉オンブズパーソンが未委嘱である。改善すべきであるが

問　条例施行にも係わらず、オンブズパーソンが７カ月以上、１人も委嘱されなかった。この制度は、福祉や保健・医療などに関して、市民からの苦情や相談を受けつけ、被害を救済する制度である。委嘱せずに市民が利用できない状態を放置していたことは許されない。原因と今後の対策を伺う。

答　新市の条例に基づき、新たに広く人選するため調整をしていた。２名に委嘱するものだが、１人しか見つけられない状況が続いていた。市としては、２名の委嘱を一緒に行うために委嘱しなかった。

このような中、市民からオンブズパーソンに相談したいとの電話があったので、急遽、弁護士１名に委嘱をした。実際に７カ月の間、救済制度であるオンブズパーソンに委嘱していなかったことは、不適切な対応であった。深く反省するとともに、今後、このようなことがないよう引き締めて事務を遂行していく。

不正請求事件に関わる損害金全額の早期返還を

問　前回議会後の対応と今後の予定を伺う。

答　１１月５日に裁判所から通知があった。各債権者からの債権額の届け出は、１２月２７日まで。次回の債権者集会は、平成２３年１月２４日に開催予定である。市も額の届け出を行い、債権者集会へ出席して破産手続の状況について把握するように努める。

田村栄子 議員（無会派）

都市ガス管の埋設工事に関して

問　栗橋地区で現在、都市ガス会社が新設のガス管を埋設している。この工事は栗橋地区を通り、古河市方面に供給する輸送管の埋設であり、埋設工事自体は土木工事で問題はない。しかし、管の直径は４０ｃｍでガスの圧力は中圧（０.９９Ｍｐａ）だから安全だといわれても、住民は通ガス時のガス漏れなどを心配している。そこで、市民の不安の解消に事業者の説明を求めているが市の考えはどうか。

答　このガスの圧力は中圧であり、ガスを通す時は窒素ガスを追加し、その圧力が下がらなければ、ガス漏れが起きていないことが判明する方法で行う。住民説明は回覧にするか、説明会にするかは、ガス会社と相談の上行う予定である。

学校給食について

問　栗橋南小学校北校舎立て替え中の学校給食はどうなるのか。自校方式の給食を望んでいる児童や保護者の方々が心配している。また、地産地消はいかがか。

答　現在、久喜市学校給食審議会で審議中なので、その結論を待ちたい。地産地消は南栗橋小に対して地元農産物を販売している「フレサ」から調達し、埼玉産の米も食材として利用している。

大鹿良夫 議員（飛翔）

水稲、彩のかがやき等の高温障害による被害の対応について

問　今年の夏は３５度以上の記録的な猛暑が続き、埼玉県の奨励品種である彩のかがやきが高温障害による大被害を受けて、品質の低下や減収となっている。被害者数と被害総額は。

答　被害者数は７２７名と推定している。被害額は３億４１８０万円と見込んでいる。

問　被害者の救済方法は。

答　次期作用の種子及び肥料購入費を、県と市で２分の１ずつ補助する予定である。また、県の補助金の交付要件から外れた農業者を救済するため、市単独分としての補助額を補正予算として計上した。

問　彩のかがやきを学校給食の米飯に使用することが、農家の支援につながると思うが。

答　平成２２年１２月から２３年１０月までの間、久喜市の学校給食のすべてに、久喜市産米の彩のかがやきを使用することとした。

緑の学校ファームについて

問　緑の学校ファームは、児童生徒が農業体験を通じ地域社会の支援者との交流を図り、社会性を身につけるすばらしい事業である。収穫した貴重なお米について、給食の米飯として活用できないか。

答　食育を推進する上でも大変意義のあることなので、今後どのような形で学校給食に使用することができるか調査研究していきたい。

鎌田忠保 議員（飛翔）

管工事組合の業務委託契約について

問　宅地内で漏水をしているので、馴染みの地元水道業者に修理依頼をしたら、量水器の外側なので市と委託契約を結んだ組合の業者以外、手をつけるな、との水道部の指示なので、委託契約を結んだ組合の業者が来るまで住民は迷惑をこうむったとの事だが、７月２６日に菖蒲町の浄水場付近への落雷でおきた市街地の漏水事故では、業務委託を結んだ組合員だけでは対応が間に合わないので、業務委託を結んでいない他の組合員が応援施工をしたが、１市３町が対等合併をしたのになぜ水道組合を１つにまとめないで、既存の久喜市管工事組合が新市全域をカバーする業者と認め業務委託契約をしたのか伺う。

答　旧１市３町の合併協議において、漏水等の対応については旧久喜市管工事協同組合に業務委託をしたが、契約時において久喜市管工事組合には旧１市３町でそれぞれの町で活動している水道業者が少数ではあるが加入していたので、各地区の漏水発生状況から対応可能と判断し、業務委託契約を結んだが、市としては、水道業者の皆様が１つにまとまり水道行政にご協力いただけることを願っている。

要望　この問題は私以外の議員でも、話を聞けば一般質問に取り上げると思うが、これから先、組合がどのような形で市と業務委託を結ぶか宿題とさせてもらい、結果次第では数ヵ月後にまた質問をする。

鈴木松蔵 議員（飛翔）

合併による行政の効率化と財政効果について

問　合併後の１０年で一般職職員を約１３０人削減して、人件費を３２億円削減するとある。職員の定員管理について、初年度の経過を見て次年度にどう反映させていくのか。

答　職員の定員管理は、大きな合併効果の一つである。市長の任期中において１００人の職員数を削減する方針に基づき、計画的な定員管理に努めていきたい。

問　役職が多すぎではないか。

答　役職職員の配置は、組織機構と大きく関係するものである。今後、現在の業務内容やそれに伴う業務量を総合的に判断する中で検討していきたい。

問　課が細分しすぎ、課が多すぎではないか。

答　合併により業務量が増大すること、業務内容が専門化することなどを考慮し検討したものである。

問　事務経費の削減効果をどう見るか。

答　旧１市３町で重複していた経費などについて、削減の効果が見込まれる。

問　これらをどう評価し、見直すのか。

答　一定の効果があらわれているものと評価している。今後、適正な定員管理のもと、組織機構や業務量等を総合的に勘案しながら、究極の行財政改革と言われる合併の効果が最大限発揮できるよう、適切に見直しを行っていきたい。

石田利春 議員（日本共産党）

スーパー堤防事業中止、強化堤防事業への影響はあるか

問　国の事業仕分けで、スーパー堤防事業の中止が明らかとなった。栗橋地区、堤防強化事業への影響はどうか。

▲移転が進む堤防強化事業（栗橋北2丁目付近）

答　栗橋地区で進められている堤防強化事業はスーパー堤防事業と目的も整備手法も異なり今後も計画どおり進めていく。現在までに移転契約が完了しているのは、２２７軒のうち１１３軒（４１％）である。来年度が予定した３年目となるが、今後も継続して事業をすすめていく。

久喜市の防犯灯維持管理費は市が負担すべきでは

問　久喜地区では、防犯灯の維持管理経費の一部を各行政区負担となっている。市が負担すべきものと考えるが、市の見解は。

答　久喜地区では電気料の２０％を各行政区で負担している。平成２３年度からは、久喜地区においても維持管理まで一貫して行うよう検討している。予算についても調整しているところである。

その他の質問　◇猛暑により被害をうけた「彩のかがやき」へ助成を。◇私道とは言え長年通学路として利用されている道路がある。市も何らかの助成を。

杉野　修 議員（日本共産党）

国保税は負担増をせずに統一を

問　国保の事業は、国民の生命を守る社会保障制度である。今後の税率統一にあたっては、そのことをふまえて加入世帯の負担増とならないよう努力すべきであるが。

答　一般会計から多額の繰入れをすれば引き下げは可能だが、市全体の財政状況を見ながら決定していきたい。

問　資格証世帯の方が病気で受診の場合は、保険証を発行すべきだが。又、その際の税負担は。

答　治療が緊急で（１０割）負担が困難な場合は短期証を発行し、３割負担とする。

東鷲宮駅橋上化の見通しは

問　現在、橋上化バリアフリー化に向け、調査を行っている。今後の予定は。又、新たな構造には市民の声も反映されたいがどうか。

答　今後は利用数の調査に基づき施設の規模、計画概要図作成、工事費の算出へと進んでいく。市民の皆様の意見も参考にしていく。

その他の質問

◇東コミセン拡充を。◇都市計画法違反について。

▲鷲宮東コミュニティーセンター

木村奉憲 議員（日本共産党）

国保の広域化に反対を

問　厚労省が現在、市町村が運営している国民健康保険を県に移行し広域化しようとしているのは国保税の引き上げになる。また地方自治体の一般会計からの繰り入れをなくすのは、医療費削減と受診抑制を行うことになり、反対すべきではないか。

答　国保の財政は不安定で不公平感もある。保険税が引き上げされるのではとの懸念があるが、公費負担割合など詳細は未定。受診抑制につながるものではないと理解している。

問　厚労省の試算でも、全体で保険税は１.５倍になり、２０１３年開始時期の国の負担は５００億、２０年には３８００億減るとしている。これは明らかな医療費抑制そのものだ。一般紙の調査でも県の賛成はわずか４県、県の後期高齢者医療連合の須田会長も反対している。市の態度は。

答　厳しい状況の中で、やはり制度を改正しながら、公費負担も要望しながらとの認識。結論的には賛成ということだ。

非核・平和都市宣言の制定を

問　１市３町にあった「平和都市宣言」が棚上げになっている。非核・憲法の視点で早急に制定を。

答　憲法遵守の立場で、２３年度に検討組織を作る。

平和都市宣言のモニュメント▲

松村茂夫 議員（飛翔）

新市誕生後の課題として

問　市が所有し利用していない、あるいは空いている土地・建物について、常時公表し市民からの利活用の提言を受け付けるようにしておいてはどうか。当面利用する計画が立てられていない市有地や公共の建物について、本来の使用目的に外れない形で、市民の提案を活かした利活用があってもよいと考えるが。

答　土地については、警察や消防組合等の官公庁を初め、自治会・福祉施設・民間企業・個人等に貸して活用している。その他、道路拡幅の代替用地や狭隘・変形の土地等を未利用地として所有しており、財源確保のため売却可能な土地については処分を進めていきたい。総合支所の空きスペースの活用について、各所属所の人員配置等の合併前の協議では予見できなかった課題も考慮に入れた上で、今後有効利用のあり方等を検討する組織を立ち上げて調査・研究を行い、方針を固めていきたい。また、市民の皆様からの提言受付については、市有財産を有効に活用するための市民の皆様の意向を把握する上で有効な方法と考えている。試行的ではあるが、未利用地については提言受付を実施していきたい。

その他の質問　◇医療について。◇中島撫山先生没後１００年について。

内田　正 議員（政策会議）

総合運動公園に隣接する「緑の山」を、行政としてどう関わっていくのか

問　この土地は昭和４０年代ごろの初めに農家土地所有者と民間業者との間で売買契約がされ、農地約３ヘクタール、沼田約１ヘクタールが不法埋め立てにより、現在に至っている。不法埋め立て地であるがゆえに、市の法遵守の精神は理解するが、４０有余年という長い間何も進展しない状況に、行政としてどう関わっていくのか。

答　基本的には民対民の問題であり、市が直接介入することは困難であるなどの理由から、慎重に対処せざるを得ないのが現状である。法律遵守の立場から、農地法等の違反を是正することを前提に対応せざるを得ないところであり、農地転用の許可権者である埼玉県と連絡・調整を図りながら、指導・対応をしていきたい。

問　所有権者から寄附をしてもらい、活用を考えるなどできないものか。

答　違反地である状態で寄附を受けるのは難しい。残土や廃棄物等が全部撤去され、是正された状態であれば、その土地の寄附等も受けることができるのではと考えている。

問　当時の用水路や農道など、市の所有地も埋立地の中にあり、市としての関わりもあると思うが。

答　当時の違反業者を告訴していることもあり、農地の状態に戻すのが大前提であると考えている。

宮﨑利造 議員（飛翔）

「彩のかがやき」の被害に対する対策について

問　夏の酷暑の影響で県が開発したブランド米の「彩のかがやき」に規格外の米が続出している。このため、埼玉県は久喜市を含む県内３４市町を対象に特別災害指定を行い、被害の回復費として次期作の種苗及び肥料購入費に対する補助を決定したとのことだが、この補助金はいくらか。

答　１０アール当たり約６５００円で予算要求をしているとのことである。

問　この補助金の交付はいつ頃になるのか。

答　現在事務作業を取りまとめているところであるが、申請を１月中に受け、２月頃に交付決定を行い、実際の支払いについては年度末頃になると考えている。

ＪＡ南彩久喜直売所「久喜キラリ直売館」のＰＲは

問　市民待望のＪＡ南彩久喜直売所「久喜キラリ直売館」が１１月２８日にオープンした。今後の利用者の利便性を図る上からも、市民に対しＰＲが必要と考えるが。

答　市内の他の直売所（ＪＡ南彩菖蒲グリーンセンター、フレサ南栗橋農産物直売所）も含め、直売所が地産地消の推進を図る上で最も重要な拠点と考えていることから、できる限りの支援をしていきたい。広報紙やＨＰにより周知を図るとともに、ＪＡと連携を図りながら、さらなるＰＲに努めていきたい。

矢﨑　康 議員（公明党）

デマンドバスの実証運行の提案について

問　久喜市においても、公共交通検討委員会で検討課題とされているデマンドバスについて、計画的な事業実施が可能で、地域の実情に応じた支援が受けられ効率的・効果的な事業実施が確保された北本市の実証運行方式を考えては。

答　デマンド交通は、事前に利用者登録をされた方が利用を希望する日時を予約の上、他の利用者との乗り合いにより目的地までの有償輸送サービスを受ける新しい公共交通手段である。

本市の公共交通の充実を図るために、本年７月、公共交通検討委員会条例を制定して、１１月１０日には第１回を開催した。

この委員会は、公募による市民の方、市内の公共的団体の役職員の方、学識経験をお持ちの方を委員として委嘱し、地域の特性や課題、団体からの意見などを踏まえ今後の久喜市にふさわしい公共交通について具体的な検討を行っていく予定である。

この公共交通検討委員会の中でデマンドバスの導入について検討していくが、その中で実証運行となった場合、国土交通省の補助事業に応募することが考えられる。

青木信男 議員（飛翔）

歩道整備計画について

問　県道１２号線（川越栗橋線）の、北中曽根から菖蒲地区内の歩道整備の進捗状況と、今後の整備計画は。

答　杉戸県土整備事務所に確認したところ、歩道整備箇所にある笊田橋の耐震補強が必要との調査結果が出たため、橋の整備手法を検討中とのことである。市としても歩行者が安全に通行できる歩道を早急に整備するよう、要望していきたい。

問　菖蒲地区内のＪＡ南彩本店前から小林地区内の歩道未整備部分の今後の計画と取り組みについては。

答　今年度中に用地調査を実施するとのことである。

問　国道１２２号線、三箇小学校横断歩道橋から春日部菖蒲線の歩道整備計画については。

答　管理を受ける協議の中で、歩道の整備についても要望していきたい。

治水対策について

問　小林調整池の今後の整備計画について、昭和５７年から用地買収が始まり、一部工事に着手したが、完成見込みは。

答　事業認可や設計指針の変更などがあり、完成時期については未定とのことである。長期にわたり事業が休止しているため、早急に事業着手するよう、杉戸県土整備事務所に働きかけていきたい。

盛永圭子 議員（飛翔）

生活道路（市道）の舗装について

問　市道の舗装率は、菖蒲地区５５.５％、鷲宮地区８３.９％、栗橋地区８９.１％、久喜地区６８.１％、平均で７０.８％となっている。菖蒲地区は非常に低い状況であり、せめて平均値までは力を入れてほしい。市の見解と今後の対応について伺う。

答　舗装率で比べると、整備率の高い地区と低い地区では約３０％の開きがある。今後は各地区における未整備の現状を把握し、順次整備していく。

問　生活道路については砂利道が多く、大・小の石がゴロゴロしていたり、穴が開いていて危険である。現状の状態で舗装をしてはどうか。現状を見て判断し、舗装をしてほしい。

答　今の状態で舗装をかけるということは、排水の問題があり、両側もしくは片側に側溝を設けるということになっている。現地のいろいろな実情があると思うが、見た上で判断していく。

問　旧菖蒲町は緊急行財政改革を実施し、過去４年間道路の改良工事を抑制してきた。合併してよかったと思える「生活道路」にしてほしい。

答　行財政改革による道路工事の抑制は他の地区も実施してきた。旧菖蒲町の道路改良工事はすでに買収が済んでいるところから改良工事を進めている。市として生活道路の重要性をかんがみ、利便性の優れた道路整備を行っていく。

鈴木精一 議員（飛翔）

観光ボランティアガイド設立支援を

問　観光ボランティアの設立が全国的に広がっている。久喜市でも始めるべきでは。

答　観光ボランティアは低廉な料金で地域の魅力を紹介する方々。久喜市は合併により多くの観光資源を有することになった。これを有機的に発展させる観光ボランティアガイドは有益なサービスと考える。新市観光マップ、ゆるキャラ来久ちゃん、ウォーキングマップの作成と併せ、観光ボランティアガイドの育成を考えていく。

地域分権への取り組みを

問　地域分権を積極的に推進するべきだが。

答　地域分権とは、市の権限や財源の一部を地域に移し、対等な立場で地域の課題を解決していく協働のまちづくりのこと。久喜市では、２５５の自治行政区を設置し、連絡調整、安全・安心、福祉増進を図っている。現段階では、この活動を通じて地域分権を進めていく考えだが、将来的には、地域に予算、権限等を付与することが望ましい。今後、どのような形が望ましいか、研究・検討していく。

その他の質問　◇農業再生に新たなアプローチを。◇久喜・白岡ジャンクション周辺での渋滞解消を。

梅田修一 議員（飛翔）

新生久喜市の魅力作りについて

問　県内各地ではご当地キャラクター、いわゆる「ゆるキャラ」を活用したまちおこしが盛んに行われている。久喜市としても他の地域に遅れをとることなくゆるキャラを積極的に活用していくべきと考える。商工会青年部が製作した「菖蒲パン鬼一」の現在までの活躍状況と、今後の予定は。

答　県の「夢チャレンジ事業」の補助金を利用し、菖蒲商工会が人生における勝負を応援するキャラクターとして作成した。県のマスコット「コバトン」を団長としたゆる玉応援団の仲間入りをしており、さいたまコープ創立４０周年記念事業や、さいたまＢ級グルメ王決定戦等に出演し、久喜市のＰＲ活動を行っている。

問　新たに製作された「来久ちゃん」の今後のデビュー予定など、活動内容については。

答　着ぐるみの来久ちゃんのデビューについては、平成２３年１月１２日の久喜市商工会新春祝賀会を予定している。その後は、銀座商店会まちの駅オープン記念式典や一店逸品事業参加店での販売促進活動、フレンドシップデーや市民まつりなど、久喜市商工会が主催する事業や後援する様々なイベントに参加し、観光等のＰＲをしていただく予定である。

その他の質問　◇日本の領土問題に対する教育方針について。

渡辺昌代 議員（日本共産党）

菖蒲老人福祉センターの利用改善を

問　旧菖蒲町において平成２１年度に改築され、大変明るくきれいな建物になったが、なぜか、利用しづらくなり、利用者が減少しているときいている。大広間の曜日別のカラオケの利用、循環バス、他団体への貸し出しなど改善すべきでは。

答　現在、状況を踏まえながら利用者の声を聞き改善の検討をしている。

問　カラオケボックスの利用方法、お風呂の時間延長などの改善、また、広くＰＲが必要であり、子ども達との交流ももっと広げられないか。

答　ＰＲの必要性は認識している。できるかぎり対応できるものは、協議、検討していきたい。

鷲宮中央保育所跡地利用に児童館設置を

問　保育所跡地利用については、耐震診断の結果、地域子育て支援センターとファミリーサポートセンターを新設することになったが、ぜひ多くの子ども達が長期に利用できる児童館を併設できないか。

答　財源調整の中で２施設に絞らざるを得なかった。児童館の要望は将来的な課題として認識している。

その他の質問　◇子育て家庭の経済的負担軽減安心安全の面から３人乗り自転車の貸し出しを。◇生活保護ケースワーカーの増員を。◇生活保護家庭中学３年生に学習の場の提供を久喜市でも県に要請してはどうか。◇旧菖蒲高校跡地の利用は。

春山千明 議員（政策会議）

教育活動指導員・支援員事業の充実を

問　教育活動指導員・支援員事業（旧久喜市いきいき支援員事業）は、発達障害の児童生徒に特別な支援をするものだが、各学校において、その対象人数も支援の内容もさまざまな現状の中、指導員・支援員の配置は、各学校の要支援児童生徒の状況に応じたものとし、より充実した事業にすべきだが。また旧久喜市いきいき支援員の報酬は、職務に合った額にするべきということで、合併前にやっと報酬額を８８０円から１３００円に引き上げた。今回その立場を二分し、職務内容は同じでも、報酬は指導員１３００円、支援員８８０円と、その格差は著しいものとなってしまった。この額は均一化するべきだがいかがか。

答　各学校に在籍の支援が必要とされる児童生徒を的確に把握し適正に配置することは重要で、できるだけ多く、教員免許を有する指導員を配置していきたい。この教育活動支援事業は、合併調整の中で発達障害の子どもたちに対して行う旧久喜方式に統一することになった。旧久喜市では有資格者が支援員となっていたが、旧栗橋、鷲宮町では無資格だったので、調整の結果、報酬はこのような差になってしまった。現在の大きな差は来年度以降検討していきたい。

その他の質問　◇保育園建て替え。◇循環バス停の適正管理。◇交通指導員の増員をするべき。

戸ヶ崎博 議員（公明党）

彩のかがやき米支援のために

問　市の支援の取り組みは。また宅配や公共施設や事業所での彩のかがやき米の活用は。

答　埼玉県の農業災害対策特別処置条例の指定を受け、また、市の対策要綱に基づき県と市が２分の１ずつ負担し補助金の支給をしていく。さらに県の補助金の対象とならない農業者の救済のために市独自の支援をしていく。また、市広報などで購入の支援のお願いや、宅配については旧市町の範囲内において行っている。事業所での活用については、ＰＲをし活用推進に努めていく。

農業者の事故防止の取り組みについて

問　毎年、全国で４００名ほどの方が農作業の事故で命を失っている。特に高齢者の方の事故防止と共に労災保険の加入推進を。

答　市としては、農業者の方が万が一の事故に対応するために労災保険に加入が必要と考えている。農業委員会の発行している農業だより等を通じて加入の促進を図っていく。

高齢者大学の充実のために

問　高齢者大学の充実のためさらなる取り組みを。

答　平成２１年度までで３４００名の卒業生を送り出した。今年は１５４人が入学されたが、昭和５７年の設立時に比べ減少傾向である。事業の見直し、また募集に向け広報などで皆様に広くお知らせしていく。

岡崎克巳 議員（公明党）

道路整備について

問　県道３１６号線から国道４号線、また春日部・久喜線から白岡方面への道路整備をすべきだが。

答　どちらもかなりの期間と費用を要する事から、現在計画している２路線の整備を優先したい。

問　都市計画から４４年たつ、久喜東停車場線の整備をどのように考えているか。

答　今後圏央道の側道整備が進む中で地区状況が大きく変わることが予想される。さらに杉戸・久喜線の久喜跨線橋の供用開始が予定されていることから、今後は久喜駅東口側の交通状況を十分に考慮しながら、整備時期や手法について検討したい。

防犯灯について

問　ＬＥＤ防犯灯は計画的に設置し、危険な場所、犯罪の多発する場所は青色ＬＥＤ防犯灯を設置すべきだが。また防犯灯の電気料金を含めた維持管理を市が行うべきだが。

答　青色防犯灯については、多くの設置事例やその後の効果などを検証し慎重に判断したい。また、市が設置から維持管理まで一貫して行う方向で検討しており、２３年度予算で調整している。ＬＥＤ防犯灯は新規、破損の場合、順次切り替えていく。

教員パソコンの充実について

問　学校により設置に違いがあるが積極的整備は。

答　教員１人１台を目標に計画的に整備したい。

上條哲弘 議員（飛翔）

防災無線の運用について

問　防災行政無線の放送が聞き取れなかった人のための対策は。

答　市ホームページで見ることができる。また、防災行政無線情報メール配信サービス事業を構築中で平成２３年１月中旬から配信予定。

問　携帯電話、パソコン等を使わない、情報弱者には対応していないのではないか。行政無線を聞き逃したときに利用できるフリーダイヤルによるテレホンサービスが導入できないか。

答　初期導入経費等を含め、総合的に検討したい。

災害時における飲料供給について

問　市内の災害対応型自動販売機の設置状況と災害時における協力協定の合併後の締結状況は。

答　合併に伴い協定の見直しを進めている。災害対応型は現在１１台。今後１９台が機種変更する予定で合計３０台が災害対応型となる。

問　早く締結をすべき。いつ頃締結できるか。また飲料水メーカーが無償で提供しているＡＥＤを装備している自動販売機がある。体育施設に設置すれば、ＡＥＤの市の年間維持管理費は不要になる。ぜひ導入を検討し、フリーダイヤルの費用が捻出できるよう要望する。

答　早ければ年内、遅くとも年明け早々には協定の締結にこぎつけられると考える。

園部茂雄 議員（政策会議）

防災リーダーの育成について

問　市内の自主防災組織の普及と市民の防災に関する自主的な行動力を高めるために防災リーダー認定講習を行い、ひいては自主防災組織の普及を図るべきだが、市の見解を伺う。

答　実施している自治体などの事例を参考に久喜地区消防組合と協議して検討していく。

ホームページの充実について

問　合併後、久喜市ホームページが一新されたが、市民から情報不足で施設紹介等がなく、不便であるとの意見が寄せられている。早急にホームページの内容を充実させるべきだが、市の考えを伺う。

答　即急にページを充実する必要があるとの認識から、写真や地図を含めた施設の概要を記載したページとして、現在１２月末までには公開に向けてその準備を進めている。

市民の皆様にわかりやすいものであることが第一であるので、今後とも様々なご意見を参考にさせていただき、内容の充実を図っていきたいと考えている。

▲防災訓練

その他の質問　◇（仮称）白岡久喜バイパスの整備について。◇賀詞交歓会について。

猪股和雄 議員（政策会議）

学校給食の改善をできることから進めるべきである

問　久喜地区以外の食器の強化磁器製への変更を。

答　食器の改善は給食審議会に諮問していく。

問　久喜給食センターは１０時には調理終了しているが、時間を繰り下げて温かい給食の提供を。

答　できる限り遅らせるよう検討していく。

問　栗橋南小学校の校舎と調理室の改築中は、鷲宮センターで調理をするよう検討すべきでないか。

答　実施を具体的に検討していく。

問　栗橋の中学校給食も、現在の全面委託から鷲宮センターでの調理に切り替えていくべきである。

答　全体的な給食運営方針の中で検討していく。

問　食材の地産地消を積極的に進めるべきである。農産物の使用を、まず各地区産、久喜産、その次に県内産という優先順位で拡大していくべきだ。

答　久喜地区では特別栽培以外の農産物にも拡大し、旧３町地区でも地元農産物の使用拡大を進めていく。地元産農産物使用の優先順位も考えていく。

その他の質問　◇障害者用駐車場利用証交付制度の実現。高齢運転者等の道路上専用駐車区間制度の導入◇市立図書館活動の充実と図書購入費の大幅増額◇総合支所の空きスペースの有効活用。鷲宮の障害者施設の移転、各支所に市民活動支援スペース及び団体支援室の設置を◇広域行政の広報の充実◇エイム不正事件と久喜児童クラブ問題の経過公表を

並木隆一 議員（飛翔）

栗橋地区・利根川堤防整備強化事業について

問　民主党政権による事業仕分けの影響はあるのか。（社会資本整備事業特別会計のスーパー堤防事業の廃止）

答　八坂神社を含めた防災公園地区は、スーパー堤防的手法によるが、強化堤防改良案として実施しているので影響はないとのことである。

問　１０月末までの、移転補償契約の進捗状況は。

答　約２３０件のうち、１０４件の契約が締結され、面積比で約４１％である。平成２２年度末までに９件、２３年度予算での契約を２３件の方が待っている。

問　強化堤防築堤工事の進め方は。（工程表と盛土工事の方法について）

答　用地買収は、平成２３年度までに完了させ、まとまった移転が完了した個所から上下２段階に分け、盛土工事を予定している。工事実施にあたり、騒音、振動、粉じん等に配慮し、周辺住民の理解と協力を得ながら進めていく。

問　堤防整備強化事業と同時に活性化対策は。

答　利根川沿線栗橋地区の活性化については、地元の方を中心に、栗橋宿ふれあい推進協議会が活動している。久喜市としても、地域の活性化に向けた取り組みは重要と考えている。防災公園の活用を含め、国や県と相談しながら、地域住民と協議を重ね一緒に活動していく。

足立　清 議員（公明党）

コスト削減のためコンビニでの住民票・印鑑証明発行事業を提案

問　埼玉県内では北本市が初実施となる、住基カードを利用したコンビニエンスストアでの証明書発行事業が全国に広がりを見せている。久喜市でも導入すべきと考える。現在コンビニを利用した公共料金の支払いや、各種税金の納税などいわゆるコンビニ納付が全国のコンビニから出来るようになっている。今やコンビニが地域住民の生活上の重要な拠点となっている。より住民サービスの向上と事務効率の上からコンビニエンスストアで証明書の交付事業を進めるべきと思う。導入のメリットとして①全国１万２０００箇所のセブンイレブンで交付を受けられる。②交付時間が午前６時から午後１１時まで拡大でき、土日、祝日も交付できる。③窓口交付や自動交付機より大幅にコスト削減が出来る。以上の点から、久喜市でもシミュレーションを実施検証し導入を提案する。

答　住基カードを利用したコンビニでの証明書の交付については、本年１１月渋谷区を始め６自治体が実施している。現在交付に対応するコンビニはセブンイレブンのみだが、全国１万店を超える店舗数が有ることから、市内在住の方が勤務先の近くでも住民票、印鑑証明が取得できるので市民サービスの向上が図られるものと考えている。今後経費・効果等を検証していく。

大谷和子 議員（飛翔）

廃食油のリサイクルについて

問　環境負荷を低減させ、循環型社会の一つの取り組みとして廃食油を回収、バイオ燃料に加工し、トラクターやごみ収集車の燃料として使用できるような事業の導入はできないか。

▲バイオ燃料の原料となるひまわり

答　廃食油の有効活用については、バイオ燃料などの製造が考えられるが、本市においては安定した廃食油の回収や生産、消費までを含めた総合的なシステムを構築することは現状では難しい状況と考えている。

問　廃食油の回収や製造が難しいのはなぜか。

答　回収する方法、回収の拠点。新たな設備投資、人員配置。製造したＢＤＦの成分の安定化。などの問題がある。また、消費先の確保も非常に難しい。

問　遊休農地にひまわりを栽培し、その種から油を採取し、食用としてイベントでてんぷらを揚げたり、トラクターの燃料にしているＮＰＯがある。そのような団体などと、まずは研究から始められないか。

答　廃食油を使ったリサイクルは環境に優しいということからも、これから如何にしていったらいいかを研究していきたい。

井上忠昭 議員（飛翔）

医療問題について（透析）

問　透析は週３回、ある程度の時間をかけて行われるため、できるだけ近くで、自分の住む地域で負担なく受けたいと思うのは当たり前のことだが、受け入れ先医療機関が見つからず、困っている方々も多くいる状況もある。４月に開院する久喜総合病院の透析室の規模、受け入れ可能状況を伺う。

答　久喜総合病院では、透析用のベッド数は２５床を予定している。受け入れ可能人数であるが、透析は毎回３～５時間程度、週３回受ける必要性から考え、最大で１００名程度となる見込みである。しかしながら、現在幸手総合病院で透析を受けている方で久喜総合病院でも続ける方もいるため、この人数をすべて新規で受けられるということではない。なお、開院当初は１回当たり１３人、総数５２人で始めていきたいとのことである。

要望　透析を受けられる医療機関が見つからない方が多数いる状況を市もしっかり認識して頂きたい。

▲久喜総合病院

田島行雄 議員（飛翔）

県道１２号線（川越栗橋線）の渋滞解消について

問　県道１２号線と新設道路市道鷲宮１７号線丁字路の停止線の位置について、中型車・大型車が鷲宮方面から左折する際危険である。停止線の移動ができないか。

答　久喜警察署に確認したところ、接触事故や停止線の位置に対する要望等は今のところないとのことだが、現状を踏まえ停止線の位置を移動できないか協議していきたい。

問　上清久の交差点に、右折帯と矢印式信号機の設置を。

答　杉戸県土整備事務所に確認したところ、右折帯設置等の事業化について検討しているとのことである。当該道路改良が実施される際に、久喜警察署に対し矢印式信号機の設置要望をしていきたい。

問　六万部橋（東）の交差点に矢印式信号機の設置を。

答　設置の予定はないとのことだが、今後も交通状況によっては市から働きかけをしていきたい。

県道加須幸手線の渋滞解消について

問　県道加須幸手線と県道３号線（さいたま栗橋線）の交差点に矢印式信号機の設置を。

答　渋滞解消のためにも矢印式信号機の設置が有効であると考えており、設置に向けて要望していく。

その他の質問　◇交通安全の確保について。

委　員　会

11月定例会では、13件の議案がそれぞれ所管の委員会に付託され、審査が行われました。そのうち、一般会計補正予算についての審査の概要を掲載しています。（他の議案は審査結果のみ掲載です。）

予算常任委員会

●平成22年度久喜市
一般会計補正予算（第2号）について　可決

（歳入）

問　地域づくり提案事業補助金が倍増になった理由は。

答　補正前の210万円は新市観光マップ作成事業補助金とゆるキャラ作成事業補助金分であり、今回の増額分は市民まつり補助金関係の事業費を充てているためである。

問　放置自転車対策事業の内容は。

答　放置自転車等売払金を計上。1台あたり861円で、久喜市内全域で500台を想定している。

（歳出）

問　本庁舎管理事業の修繕料285万1000円の内容は。

答　本庁舎3，4階の一部の配線の移設工事、4階大会議室内とその廊下のカーペット、庁舎の看板の修繕、及び庁舎玄関に市章と市役所名を取り付ける工事である。

問　ボートピア栗橋環境整備協力費の補助金は栗橋地区に限定されるのか。

答　平成21年度を含め5ヵ年は、久喜市小右衛門地区を中心とした栗橋地域に補助する予定である。

問　農業災害対策特別措置事業の1件あたりの補助の金額は。

答　県と市の補助金を合わせて10アール当たり6500円である。

●平成22年度久喜市
国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について　可決

●平成22年度久喜市
介護保険特別会計補正予算（第2号）について　可決

●平成22年度久喜市
下水道事業特別会計補正予算（第2号）について　可決

総務財政市民常任委員会

●指定管理者の指定について【久喜総合文化会館】　可決

●埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について　可決

※送付された陳情1件を検討しました。

●久喜市公的審議会等委員への宅地建物取引業者の登用等に関する陳情書

環境建設水道常任委員会

●久喜市企業誘致条例　可決

●指定管理者の指定について【久喜市営釣場】　可決

●指定管理者の指定について【久喜市総合体育館（第1体育館・第2体育館）及び久喜市都市公園の有料公園施設等（青葉公園・清久公園・久喜市総合運動公園）】　可決

●路線の廃止について　可決

●久喜市栗橋地区の利根川堤防整備事業の継続について国への意見書提出を求める請願　採択

福祉健康常任委員会

●久喜市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例　可決

●指定管理者の指定について
【久喜市立菖蒲東学童クラブ】　可決

※このほか、所管事務調査として「鷲宮保健センター」「鷲宮福祉センター」及び「介護老人保健施設桜田」の3つの施設の現状について、視察を行っています。

文教常任委員会

●久喜市立幼稚園保育料等検討委員会条例　可決

※このほか、所管事務調査として「久喜市立図書館協議会」「久喜市学校給食審議会」「久喜市立小・中学校学区等審議会」について教育委員会より説明を受けました。

みなさんの写真を表紙に掲載しませんか？

久喜市内の地域の行事、風景などの写真をお待ちしております。

≪応募規定≫

○久喜市内で撮影されたものに限ります。また、撮影禁止の場所では撮影しないでください。

○応募作品は原則として返却しません。

○応募作品は未発表のものに限ります。

○作品の著作権は、著作権法に規定する二次元的著作権の利用及び翻案改変権を含め、すべて久喜市に帰属します。

○人物等が写っている場合は、必ず被写体の方の承諾を受けて下さい。

○差し支えがなければ採用者の氏名を公表させていただきますので、作品に住所・氏名・撮影場所を添付して下さい。

≪選考方法≫　広報委員会委員が選考します。

問合せ・申込先：
久喜市議会事務局議会総務課　調査係
〒346-8501　久喜市下早見85-3
TEL　0480-22-1111（内線5115）
FAX　0480-21-6061
電子メール　gikai@city.kuki.lg.jp

No.4 久喜市議会だより

陳　情

●久喜市公的審議会等委員への宅地建物取引業者の登用等に関する陳情書

社団法人　埼玉県宅地建物取引業協会
埼葛支部　支部長　櫻井道正

議会を傍聴してみませんか

○市議会は皆さんが自由に傍聴できます。
本会議　定員50人
委員会、代表者会議、全員協議会、議会運営委員会
定員15人
○手話通訳をご希望の方は、傍聴したい日の2週間前までに議会事務局にご連絡ください。
TEL0480-22-1111
（内線5113、5114）
FAX0480-21-6061
議会のホームページでも傍聴についてご案内しています。

議会の詳細は「会議録」で

議員の発言内容を詳しくお知りになりたい方は、議会事務局、県立及び市立図書館、公文書館で「会議録」が閲覧できます。また議会のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。

なお、11月定例会の会議録は校正事務の都合上、閲覧・ホームページへの掲載は、2月上旬頃になります。

本会議傍聴者数

11月24日（議案上程）	5人
11月29日（一般質問）	29人
11月30日（一般質問）	13人
12月 2日（一般質問）	32人
12月 3日（一般質問）	12人
12月 7日（議案質疑）	8人
12月21日（討論・採決）	4人
合　計	103人

委員会傍聴者数

11月16日（議会運営委員会）	0人
12月 9日（予算常任委員会）	1人
12月10日（総務財政市民常任委員会）	0人
12月13日（環境建設水道常任委員会）	1人
12月14日（福祉健康常任委員会）	1人
12月15日（文教常任委員会）	0人
合　計	3人

平成22年11月定例会本会議出席状況

○出席　×欠席

議席番号	氏　名　（会派）	11月24日	11月29日	11月30日	12月2日	12月3日	12月7日	12月21日
1	渡辺　昌代（共産党）	○	○	○	○	○	○	○
2	石田　利春（共産党）	○	○	○	○	○	○	○
3	木村　奉憲（共産党）	○	○	○	○	○	○	○
4	杉野　　修（共産党）	○	○	○	○	○	○	○
5	梅田　修一（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
6	井上　忠昭（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
7	大谷　和子（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
8	上條　哲弘（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
9	園部　茂雄（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
10	春山　千明（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
11	富澤　孝至（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
12	田村　栄子（無会派）	○	○	○	○	○	○	○
13	齋藤　広子（公明党）	○	○	○	○	○	○	○
14	矢﨑　　康（公明党）	○	○	○	○	○	○	○
15	鈴木　精一（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
16	並木　隆一（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
17	田島　行雄（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
18	鈴木　松蔵（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
19	盛永　圭子（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
20	柿沼　繁男（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
21	猪股　和雄（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
22	石川　忠義（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
23	新井　勝行（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
24	内田　　正（政策会議）	○	○	○	○	○	○	○
25	岡崎　克巳（公明党）	○	○	○	○	○	○	○
26	足立　　清（公明党）	○	○	○	○	○	○	○
27	戸ヶ崎　博（公明党）	○	○	○	○	○	○	○
28	松村　茂夫（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
29	青木　信男（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
30	宮﨑　利造（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
31	大鹿　良夫（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
32	山田　達雄（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
33	岸　　輝美（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○
34	鎌田　忠保（飛　翔）	○	○	○	○	○	○	○

◆コスト表示…平成22年度の久喜市議会だよりは、1部当たり9.55円で製作しています。

編集後記

2011年が明け早1か月、この「久喜市議会だより」が皆さまのお手元に届くのは、節分の頃と思います。節分は各季節の始まりの日の前日のことで、「季節を分ける」ことをも意味しています。無病息災を願って豆まきをしたり、縁起が良いとされる恵方巻を食される方々も多いのではないでしょうか。

さて、議会はまもなく2月定例会に入ります。2月議会は予算議会とも言われ、市が年度に実施したい事業などにどれほどの経費をかけるか、一方これを賄うために必要な財源をどのように調達するかといった、一年間の収支の見積もりが審議されていきます。また初日には市長の施政方針演説があり、日曜議会としてこれに対する各会派の代表質問も行われます。いずれも住民生活に直接関わりあることから、ぜひ傍聴されてみてはいかがでしょうか。（井上）

広報委員会委員
◎大谷和子
○園部茂雄
石田利春
井上忠昭
田村栄子
齋藤広子
盛永圭子
柿沼繁男
猪股和雄
山田達雄
鈴木松蔵
（◎委員長　○副委員長）